



平成24年度予算案

一般会計

# 669億2,206万円

震災の危機を乗り越えて、  
安全で安心して  
暮らせるまちを創り、  
希望あふれる三鷹の  
「今」と「未来」を創造するために

平成24年度の市の予算案が、2月29日から始まった市議会定例会で審議されています。新年度の予算案は、安全で安心な、持続可能なまちを創るために、平成24年度が「実行元年」となる第4次三鷹市基本計画の「緊急プロジェクト」としている「危機管理」と、「最重点プロジェクト」としている「都市再生」、「コミュニティ創生」の3つを重点施策として編成しました。将来への希望にあふれ、今を生きる市民一人ひとりが誇りを持ち、「三鷹で暮らしてよかった」、「三鷹で暮らし続けたい」と実感できるようなまちづくりを進めていきたいと考えます。

予算案の概要について2面・3面で紹介しています

## 新年度の施政方針(概要)



三鷹市長

清原 慶子

3月11日の東日本大震災の発生から、はや1年がたとうとしています。多くの尊い命とそれぞれの暮らしを奪った大震災の爪痕は、いまだ被災地に深く刻まれたままであり、今なお多数の人々が、仮設住宅などで不自由な暮らしを余儀なくされています。被災地の一日も早い復興と再生を支援しつつ、今回の大震災が残した教訓をこの国の未来に生かしていくことは、私たちが果たさなければならない歴史的な使命の一つと考えます。

私は今回の大震災への対応の経験を通して、市民の皆様の「命」と「暮らし」を守ることが、基礎自治体の最も重要な「役割」であることを痛切に再確認するとともに、このことは今後も市政を貫く重要な「使命」であるのだと、市長の責務の重さを受け止めています。

加えて、東日本大震災によって日本の経済は深刻な打撃を受けているとともに、急速な円高の進行や欧州債務危機の顕在化による世界経済の減速が、日本経済の先行きを不確かなものにしていきます。

私は、東日本大震災と世界的な経済危機という2つの危機による市政への影響の克服に努め、将来への希望にあふれ、今を生きる市民一人ひとりが誇りを持ち、「三鷹で暮らしてよかった」、「三鷹で暮らし続けたい」と実感できるようなまちづくりを進めていきたいと考えます。

そこで平成24年度を、「震災の危機を乗り越えて、安全で安心して暮らせるまちを創り、希望あふれる三鷹の『今』と『未来』を創造する年度」と位置付けました。平成24年度が「実行元年」となる第4次三鷹市基本計画の積極的な推進を図るために、同計画の「緊急プロジェクト」としている「危機管理」と、「最重点プロジェクト」としている「都市再生」、「コミュニティ創生」の3つを重点施策として、市政の使命を着実に果たし、安全で安心して暮らせる、持続可能なまちを創るための予算編成に努めました。

### ① 「危機管理」の取り組み

「危機管理」の取り組みとしては、東日本大震災の教訓を踏まえ、改めて防災力の一層の向上を図り、いつ発生してもおかしくない想定されている首都直下地震などへの備えを強化します。地域防災計画の本格改定を行い、情報連絡体制の強化や帰宅困難者への対応などを進めます。また、防災行政無線について、私立保育園や幼稚園、地域包括支援センターなどに戸別受信機を増設し情報伝達体制を拡充します。さらに、災害時応援協定を交わしている関係機関の参加協力による防災関係機関連携訓練を行い、災害時医療救護体制、避難所運営体制、災害時要援護者支援、非常時優先業務の検証などに取り組みます。

このほか、震災時の救急救命活動や物資輸送などに重要な役割を担う緊急輸送道路のうち、特に沿道の建築物の耐震化の必要がある特定緊急輸送道路の沿道建築物について、耐震診断助成とともに、設計や改修の助成を行うなど、災害に強いまちづくりを進めます。



防災関係機関連携訓練

施政方針全文は市のホームページでご覧いただけます

### ② 「都市再生」の取り組み

「都市再生」の取り組みとしては、引き続き公共施設の整備と耐震化を進めます。特に、新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の整備を、公共施設の整備・耐震化と集約化の中核事業として最優先課題に位置付け、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)と連携を図り、効率的・効果的に事業を推進します。そこで、引き続き実施設計に取り組みとともに、防災公園街区整備事業として用地取得や防災公園整備に係る負担を行うほか、平成25年度からの整備に向けて、暫定管理地内の施設の解体撤去を行います。

また、公会堂などの整備により、耐震性の確保とバリアフリーへの対応を図るとともに、教育環境の整備と災害時の防災拠点の強化に向けて三鷹中央学園三鷹市立第三小学校の建て替え事業を継続して実施し、年内のしゅん工を目指します。

さらに、公共施設の計画的な維持・更新の取り組みとして、調布市と共同で整備している新ごみ処理施設について、平成25年度の本格稼働に向けて整備を進めるとともに、下水道施設の延命化や設備改善に向けた調査などを進めます。



三鷹中央学園三鷹市立第三小学校の建て替え後のイメージ

### ③ 「コミュニティ創生」の取り組み

「コミュニティ創生」の取り組みとしては、町会・自治会および住民協議会、地域防災組織の取り組みを再評価し、そうした活動の活性化に向けて取り組んできている「がんばる地域応援プロジェクト」を引き続き行います。

また、地域に暮らす人々がつながり、支え合うための新しい「共助」の仕組みづくりである「地域ケアネットワーク」の推進に取り組みます。コミュニティ住区を基盤に、地域の市民、関係団体などが連携してネットワークを形成し、地域での課題解決に向けて協働して取り組む地域ケア推進事業は、これまで4つの住区で設立されてきていますが、平成24年度は市内5カ所目の設立を進め、今後順次、すべての住区での開設を目指します。

さらに、災害時に援護が必要となる高齢者や障がい者について、町会・自治会などの小地域ごとに、市民相互で支え合う地域サポートシステムを確立する災害時要援護者支援事業を推進し、多様な主体の連携と連帯による安全安心の地域社会の取り組みを進めます。



地域ケアネットワーク井の頭での活動風景

私は、三鷹市はどのような都市を目指し、どのような社会や仕組みを構築していくのかを、「都市再生」と「コミュニティ創生」の実践を率先して示すことによって、将来への確固たる展望と、「元気」と、明日への「希望」を回復するメッセージを、三鷹から全国に発信していきたいと考えます。この歴史的な危機と困難を克服していくために、東日本各地の被災地の苦難に寄り添いながら、三鷹のまちと市民が持てる力のすべてを結集し、心を合わせ、力を合わせて、この危機に立ち向かうではありませんか。

私は、大震災を乗り越え、三鷹の未来を切り拓くべく、市民の皆様と三鷹の将来に想いを向けつつ、目の前の危機の克服と直面する課題の解決のために、一歩一歩、粘り強く、そして精一杯全力を尽くしていく決意です。

# お知らせします

## 平成24年度の主な事業

※ここでは、平成24年度が「実行元年」となる第4次基本計画に準じて分類・整理を行っています。

### 都市再生プロジェクト

- ・新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の整備(画像①) 42億4,435万1千円  
(4面にこの事業の関連記事を掲載しています)
- ・公会堂等整備事業の推進 11億4,433万3千円
- ・新ごみ処理施設の整備 6億1,458万6千円
- ・三鷹中央学園第三小学校の建替 9億8,114万6千円
- ・災害に強い下水道の整備の推進 3億4,462万8千円



画像① 新川防災公園・多機能複合施設(仮称)  
平成25年度からの施設整備に向けて、引き続き実施設計に取り組むとともに、暫定管理地内の施設の解体撤去、管理運営計画の検討、防災公園整備に係る負担金(用地分)の支出などを行います。

### 危機管理プロジェクト

- ・特定緊急輸送道路沿道建築物等の耐震化の促進 8,825万8千円
- ・防災関係機関連携訓練の実施(写真②) 90万円
- ・地域防災計画の改定 458万7千円



写真②  
災害発生時の情報連絡体制の確認や連携活動の強化を図るため、防災機関、ライフライン関連機関、応援協定締結団体などの参加協力により、防災関係機関連携訓練を行います。

### 健康長寿社会プロジェクト

- ・認知症高齢者支援の推進 18万4千円
- ・都市型軽費老人ホームの整備 3,000万円
- ・特定健康診査等実施計画の策定 98万円

### サステナブル都市プロジェクト

- ・高環境・高品質な住環境の確保に向けた公有地の活用 6,541万1千円
- ・学校版環境マネジメントシステムの推進 61万3千円
- ・学校校庭などの芝生化の推進(写真④) 5,250万円



写真④  
ヒートアイランド現象の緩和など環境負荷の低減に対応するため、東京都の補助金を活用して校庭などの芝生化整備を行います。

### 地域活性化プロジェクト

- ・地域情報化プランに基づく新たなICT施策の推進 1,400万円
- ・地域自治組織の活性化支援 150万円
- ・「SOHO CITY みたか」の推進 1,663万5千円
- ・三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 160万円
- ・花と緑のまちづくりの推進(写真⑤) 7,622万2千円
- ・南部図書館(仮称)の整備の推進 609万円



写真⑤  
NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会が実施するイベントや講座などを通じた緑の保全・緑化推進事業を支援します。また、東京都と財団法人都市緑化機構が主催する「第29回全国都市緑化フェア」に参加します。

### コミュニティ創生プロジェクト

- ・コミュニティ創生のあり方に関する研究と新たな事業の推進 50万円
- ・地域ケア推進事業の拡充(写真①) 1,234万7千円
- ・災害時要援護者支援事業の推進 266万3千円
- ・買物支援の充実 1,200万円



写真①  
コミュニティ住区を基盤に、住民協議会をはじめとする地域の市民、関係団体などが連携してネットワークを形成し、地域での課題解決に向けて協働して取り組む「地域ケアネットワーク事業」の拡充を図ります。

### 子ども・子育て支援プロジェクト

- ・乳児家庭全戸訪問の実施 159万4千円
- ・私立認可保育所の開設 2億8,608万1千円
- ・大沢台保育園の保育年齢の拡充 248万6千円
- ・子宮頸がん等予防接種事業の実施 1億4,419万3千円
- ・コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展(写真③) 7,534万4千円
- ・小・中学校のICT環境の再整備と利活用の推進 2億9,095万8千円
- ・学校給食の充実と効率的な運営の推進 2億2,797万1千円



写真③  
コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育について、学園研究や相互乗り入れ授業を効果的に実施するとともに、より一層の内容の充実を図り、持続可能な教育活動や学園運営などへの支援を行います。

### セーフティーネットプロジェクト

- ・緊急雇用創出事業の実施 9,451万7千円
- ・緊急不況対策の充実 5,815万5千円

### 都市交通安全プロジェクト

- ・市道第135号線(三鷹台駅前通り)整備の促進 2,054万7千円
- ・あんしん歩行エリアの整備 2,920万1千円
- ・駐輪場整備基本方針の推進(写真⑥) 2億6,624万1千円
- ・みたかバスネットの推進 4,158万3千円



写真⑥  
平成23年7月に策定した「三鷹市駐輪場整備基本方針」に基づき、駐輪場の整備および利用料金体系の適正化を進めます。

### そのほかの新規・拡充事業など

- ・資源物の持ち去り防止による資源化の推進 7,838万円
- ・空きびん・空き缶の戸別収集の拡充 1億5,545万8千円
- ・スポーツ祭東京2013(東京国体)の推進(写真⑦) 6,807万5千円
- ・第4次基本計画等および新たな行財政改革の推進 1,009万4千円



写真⑦  
スポーツ祭東京2013開催に向けて、平成24年度は、運営体制の更なる確立を図るために「スポーツ祭東京2013三鷹市開催総合実施計画書」を策定するとともに、三鷹市で開催する国体正式競技3競技のリハーサル大会を実施します。

# 平成24年度の予算案を

平成24年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は、1,024億3,554万7千円で、前年度予算と比較すると、6億9,393万円(0.7%)の増となります。

一般会計の予算額は、669億2,205万5千円で、前年度予算と比較すると、19億3,493万8千円(3.0%)の増となっています。これは、新川防災公園・多機能複合施設(仮称)や公会堂などの整備事業のほか、三鷹中央学園第三小学校の建替事業など、都市再生の取り組みを積極的に推進することや、待機児童解消に向けて進めてきた私立認可保育所の開設など、子ども・子育て支援の取り組みを拡充することなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は、355億1,349万2千円で、前年度予算と比較すると、12億4,100万8千円(3.4%)の減となっています。これは、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計などが増となったものの、受託水道事業特別会計が廃止され皆減となったことによるものです。

今号ではこうした平成24年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

☎財政課☎内線2122

## ■ 各会計別の予算額

(単位:千円)

会計	平成24年度 予算額	平成23年度 予算額	増 △減		
一般会計	66,922,055	64,987,117	1,934,938	3.0%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	16,973,445	16,662,962	310,483	1.9%
	下水道事業特別会計	3,654,791	3,509,419	145,372	4.1%
	介護サービス事業特別会計	1,076,087	1,098,290	△22,203	△2.0%
	介護保険事業特別会計	10,410,087	10,561,094	△151,007	△1.4%
	後期高齢者医療特別会計	3,399,082	3,174,152	224,930	7.1%
	(受託水道事業特別会計)	—	1,748,583	△1,748,583	皆減
	合計	35,513,492	36,754,500	△1,241,008	△3.4%
総計	102,435,547	101,741,617	693,930	0.7%	
純計	95,123,259	94,067,110	1,056,149	1.1%	

※「純計」とは、会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。  
 ※受託水道事業特別会計は平成23年度で廃止。  
 ※△はマイナス。

## ■ 一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位:百万円)

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出総額	57,850	2.2%	61,158	5.7%	64,466	5.4%	64,987	0.8%	66,922	3.0%
うち市税	35,110	1.1%	35,462	1.0%	33,488	△5.6%	33,748	0.8%	33,685	△0.2%

※△はマイナス。

「平成24年度施政方針・予算概要」(1冊200円)「平成24年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書」(1冊900円)は、相談・情報センター(市役所2階)☎内線2215で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市ホームページでもご覧いただけます。

## 一般会計 669億2,206万円 (1人当たり371,789円)※1

※1 1人当たりの金額は、平成24年度の人口見込み180,000人で割り返した金額です。  
 ※2 %は、一般会計予算に占める割合を示しています。

### 歳出予算

- 議会費**  
 市議会の運営に  
**5億4,514万円 0.8%※2**  
 (1人当たり3,028円)
- 総務費**  
 市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに  
**123億6,101万円 18.5%**  
 (1人当たり68,672円)
- 民生費**  
 社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに  
**296億9,032万円 44.4%**  
 (1人当たり164,946円)
- 衛生費**  
 健康増進、ごみ処理、公害対策などに  
**44億8,297万円 6.7%**  
 (1人当たり24,906円)
- 土木費**  
 道路、公園整備、緑化対策などに  
**54億1,768万円 8.1%**  
 (1人当たり30,098円)
- 消防費**  
 消防や防災対策などに  
**22億4,888万円 3.4%**  
 (1人当たり12,494円)
- 教育費**  
 小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに  
**69億9,135万円 10.4%**  
 (1人当たり38,841円)
- 公債費**  
 市債(借入金)の返済に  
**44億2,193万円 6.6%**  
 (1人当たり24,566円)
- その他**  
 消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに  
**7億6,278万円 1.1%**  
 (1人当たり4,238円)

### 歳入予算

- 市税**  
 みなさんからお預かりする税金  
**336億8,516万円 50.3%**  
 (1人当たり187,140円)
- 各種交付金**  
 使い方が定められていない国・都からの交付金など  
**28億8,950万円 4.3%**  
 (1人当たり16,053円)
- 使用料・手数料、分担金・負担金**  
 保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入  
**17億 878万円 2.6%**  
 (1人当たり9,493円)
- 国庫支出金**  
 使い方が定められている国からの負担金・補助金  
**95億8,559万円 14.3%**  
 (1人当たり53,253円)
- 都支出金**  
 使い方が定められている東京都からの負担金・補助金  
**69億2,807万円 10.4%**  
 (1人当たり38,489円)
- 繰入金**  
 基金(貯金)の取り崩しなど  
**15億5,333万円 2.3%**  
 (1人当たり8,630円)
- 市債**  
 建設事業などのための借入金  
**64億7,320万円 9.7%**  
 (1人当たり35,962円)
- その他**  
 前年度決算の繰越金や財産売却収入など  
**40億9,843万円 6.1%**  
 (1人当たり22,769円)